

化学の魅力学ぶ

製薬工場で実験教室

米沢

米沢市の米沢
浜理薬品工業

(高美時郎社長)で6日、小学生を対象とした親子理科実験教室が開かれ、さまざまな薬品を使って、結晶化する仕組みを楽しく学んだ。

社会貢献事業の一環として、化学の魅力を学んでもらおうと初めて企画し、親子16組が参加した。子どもたちは酢酸ナトリウムを使い、「一瞬で結晶化」する実験に挑戦。フラスコに水と薬品を入れてかき混ぜたり、同社の社員から一瞬で固まる仕組みを聞いたりなどしていた。



フラスコに水と薬品を入れてかき混ぜる子どもたち

＝米沢市

米沢市南部小5年の五十嵐里桜さん(10)は「本当にすぐ固まった。何でこうなるのか不思議」と興味深そうに話していた。

(安達一智)

米 澤 新 聞

魔法? 一気に固まったよ

米沢浜理 実験教室に児童ら30人

米沢市八幡原二丁目の原薬メーカー米沢浜理薬品工業株式会社(高美時郎代表取締役)主催の理科実験教室が6日、同社で行われ、

参加者たちが「化学」の楽しさに触れた。ノウハウを生かして地域貢献するとともに、製薬を支える東北最大級のメーカーとして

の役割を知ってもらおうと、初開催された。市内の小学5、6年生が対象で、親子16組30人が参加。社員たちが先生役を務めた。



再結晶化した酢酸ナトリウムをかき混ぜ、結晶を上げしげと見つめる児童ら

実験では、原薬製造の基礎となる「再結晶化」を体験した。酢酸ナトリウムを使った際には、三角フラスコに入れ、湯せんで溶かしてからシャーレへ。過冷却現象のため冷えても液状だったが、核となる結晶を入れると、一瞬で白く固まっていた。

児童たちは「一気に白くなった」「固まる時にできる線がクモの糸みたい」と大興奮。薬さじでかき混ぜ、かき氷のような結晶を興味津々で見つめていた。北部小6年の林陸樹君(12)は「実験が

すごく面白い。ワクワクが止まらない」と夢中になっていた。

実験後には工場見学も行われた。